

第 118 号 名取市立閑上小中学校ほか 1 校特別教室等空調設備工事

仕 様 書

宮 城 県 名 取 市

仕 様 書

1. 工事名称

第118号 名取市立関上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事

2. 工事場所

名取市関上西一丁目25、ほか

3. 工事範囲

本工事の施工範囲は、本仕様書及び設計図に示す範囲とする。

4. 別途工事等

なし

5. 特記事項

- (1) 工事期間内の完成に向け、工程管理ができること。
- (2) 児童の安全対策等については万全を期すこと。
- (3) 学校行事との調整を図ること。

6. 工事期間

契約締結日の翌日から令和8年3月31日までとする。
(諸検査の合格をもって期日まで引き渡しのこと。)

7. 入札日時・入札条件・契約条件・設計図書等に関する質問等

『入札公告』による

8. 設計図書

本仕様書	1 式
設計図	1 部 (表紙共 全15枚)
入札公告	1 式

9. 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は、原則として次のとおりとする。

- 第1位 入札公告及び質問回答書
- 第2位 仕様書
- 第3位 設計図
- 第4位 共通仕様書 (当該年度における最新版)
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「標準仕様書」「工事監理指針」
- 第5位 公共規格及びこれに準ずる規格

10. 工事計画及び施工図

施工計画書・各種工事の施工図は事前に提出し、監督員の承認を得た後に施工すること。

11. 官公署への手続き

工事の施工に必要な官公署・その他への手続き・届出等は速やかに行い、それに伴う費用は全て請負者の負担とする。

1 2. 設計変更等

仕様書・設計図等に食い違いがあった場合は、速やかに監督員に報告、協議しこれを行い軽微なものは工事費の増は行なわない。また、設計図書に明記なくとも、当然常識的に行うべきこと、あるいは現場の納まり、その他の理由で設計内容を変更する場合も同様とする。

なお、設計変更、設計内容の変更に該当する場合は、市の設計書にて変更額を算出し、その設計額に当初請負額の請差率を乗じた金額で工事請負変更契約を行うものとする。

1 3. 工事の安全対策

- (1) 工事にあたり第三者・隣地並びに公道等に影響を与えぬよう、十分配慮すること。
工事用部材搬入についても経路を定め、工事安全に十分務めること。万一損傷を与えた場合は、請負者の責任と金銭負担において速やかに補償、または原形復旧とすること。
- (2) 請負業者は労災・火災その他の賠償責任保険等に参加することとし、写しを市へ提出すること。
- (3) 工事の安全対策、車両進入等他にも十分注意すること。
- (4) 児童及び学校関係者に対する安全対策は十分な検討の上、施工すること。

1 4. 現場組織の編成

- (1) 請負者は本工事を行うにあたって、十分な現場組織を編成しなければならない。
- (2) 工事の現場代理人および主任技術者は、関係法令に定める資格を有し、現場代理人の経験があるものとする。
- (3) 総括安全衛生責任者は、安全管理の組織作りを行うこと。

1 5. 検査

- (1) 完成検査は、自社において所定の検査を完了した後、名取市の発注担当課による検査、工事検査監による完成検査を受けるものとする。
- (2) 工事完了後に、名取市が何らかの理由で検査・試験・測定等を行う場合、会計検査を受ける場合等において請負業者はこれに協力すること。

1 6. 工事現場における注意事項

- (1) 事前調査
工事に先立ち施設等の事前調査を密に行い、後日問題が生じないように配慮すること。
また、配管配線等の位置、構造、老朽度を調査確認し、支障があるものについては、保安・維持に努めること。なお、これに要する費用は本工事に含むものとする。
- (2) 苦情等の処理
工事による苦情・建物の損傷・その他の問題が生じた場合は、全て請負者の責任において補償すること。
- (3) 労働者への安全対策
労働者への労働災害防止と安全衛生を図るため、始業時に朝礼、ミーティング等を行い、労働者の安全への意識向上に努めること。
- (4) 下請業者
工事請負者は、地元名取市内から下請業者等の採用について十分配慮すること。
なお、下請業者等は市の承認を得た後、決定すること。
- (5) 請負者および下請負人等が、暴力団および暴力団関係者による不当介入を受けたときは速やかに市に報告、警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行うこと。

1 7. 積算基準及び設計単価は、令和7年10月の基準及び単価としている。

18. 週休2日モデル工事の適用の有無

- (1) 本工事は、週休2日モデル工事の対象である。
週休2日工事の対象工事の場合は名取市「週休2日モデル工事」実施要領にて行うこととする。
- (2) 本工事の、週休2日モデル工事の種別は、現場閉所型である。
- (3) 本工事の週休2日工事の区分は、当初発注において、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組む場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組み、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。

19. 現場代理人の常駐義務緩和について（名取市ホームページ参照）

- (1) 現場代理人の常駐義務の緩和措置についての該当工事である。
- (2) 現場代理人が兼務する場合は下記のとおりとする。
 - ・工事担当課に届出書を提出すること。
 - ・兼務する名取市が発注する工事であること。
 - ・工事現場の相互距離は自動車で行き来可能な経路で10km程度までとし、工事現場の運営・安全管理等に支障が無いこと。

20. 主任技術者の専任要件の緩和措置について（名取市ホームページ参照）

- (1) 主任技術者の専任要件の緩和措置についての該当工事である。
- (2) 主任技術者が兼務する場合は下記のとおりとする。
 - ・工事担当課に届出書を提出すること。
 - ・兼務する工事は国、県または市町村が発注する工事であること。
 - ・工事現場の相互距離は自動車で行き来可能な経路で10km程度までとし、工事現場の運営・安全管理等に支障が無いこと。

位置図



* 電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成
<https://maps.gsi.go.jp/#16/38.170396/140.920601/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c1g1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0>

関上小中学校：名取市関上西一丁目25

下増田小学校：名取市美田園七丁目23-3

第118号 名取市立閑上小中学校ほか 1 校特別教室等空調設備工事

参考金抜き設計書

【 取扱上の注意事項 】

本設計書に記載されている数量は参考数量であり、本設計書は工事請負契約に記載されている設計図書には含まれない。

宮 城 県 名 取 市

•

名取市立閑上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事

上小中学校ほか1校特

円（消費税除く）

一金

円（消費税含む）

[illegible]

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	名取市立閑上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事						
T	指定仮設		1.0	式			
M	機械設備		1.0	式			
E	電気設備		1.0	式			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	指定仮設						
1	関上小中学校						
	仮囲い	メッシュシート 6ヶ月	30.0	m			
	キャスターゲート	W6000×H1800 6カ月	1.0	箇所			
2	下増田小学校						
	仮囲い	メッシュシート 6ヶ月	30.0	m			
	キャスターゲート	W6000×H1800 6カ月	1.0	箇所			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	機械設備工事						
1	閑上小中学校	空気調和設備	1.0	式			
2	下増田小学校	空気調和設備	1.0	式			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	機械設備工事						
1	関上小中学校	空気調和設備					
	ACP-Y1 空冷パッケージエアコン	屋外機 C:12.5KW H:14.0KW	4.0	組			
		屋内機 天吊り C:12.5KW H:14.0KW					
	同上取付費	屋外機 C:12.5KW H:14.0KW	4.0	台			
	同上取付費	屋内機 天吊り C:12.5KW H:14.0KW	4.0	台			
	断熱材被覆銅管	液管 9.52φ 保温厚10mm	32.0	m			
	断熱材被覆銅管	ガス管 15.88φ 保温厚20mm	32.0	m			
	硬質塩化ビニル管	屋内一般 VP 25A	32.0	m			
	防虫網	25A	4.0	個			
	壁開口補修	機械はつり 125φ×150L	2.0	箇所			
	あと施工アンカー	M-10 下向き	16.0	本			
	保温化粧ケース	100 70	32.0	m			
	渡り配線	EM-CEE2.0-3C 冷媒供巻き	32.0	m			
	X線探査	30箇所未満	4.0	箇所			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	機械設備工事						
2	下増田諸学校	空気調和設備					
	ACP-S1 空冷パッケージエアコン	屋外機 C:12.5KW H:14.0KW	5.0	組			
		屋内機 天吊り C:12.5KW H:14.0KW					
	同上取付費	屋外機 C:12.5KW H:14.0KW	5.0	台			
	同上取付費	屋内機 天吊り C:12.5KW H:14.0KW	5.0	台			
	断熱材被覆銅管	液管 9.52φ 保温厚10mm	31.0	m			
	断熱材被覆銅管	ガス管 15.88φ 保温厚20mm	31.0	m			
	硬質塩化ビニル管	屋内一般 VP 25A	31.0	m			
	防虫網	25A	5.0	個			
	あと施工アンカー	M-10 上向き	20.0	本			
	保温化粧ケース	100 70	31.0	m			
	欄間窓アルミパネルへ変更		5.0	箇所			
	渡り配線	EM-CEE2.0-3C 冷媒供巻き	32.0	m			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
1	関上小中学校		1.0	式			
2	下増田小学校		1.0	式			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
1	関上小中学校						
	1-1).動力設備						
	1-1)-①.動力幹線		1.0	式			
	1-1)-②.動力分岐		1.0	式			
	1-2).受変電設備		1.0	式			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
1	関上小中学校						
	1-1).動力設備						
	1-1)-①.動力幹線						
	EM-CETケーブル	100sq FEP内	82.0	m			
	EM-CETケーブル	100sq 管内	14.0	m			
	EM-CETケーブル	100sq コロガシ	138.0	m			
	EM-IE電線	14sq FEP内	163.0	m			
	EM-IE電線	14sq 管内	27.0	m			
	EM-IE電線	14sq コロガシ	288.0	m			
	電線管	GZ82 露出	14.0	m			
	壁貫通補修	φ 100	3.0	箇所			
	プルボックス	300 × 300 × 300 SUS・WP	3.0	個			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
1	関上小中学校						
	1-1).動力設備						
	1-1)-②.動力分岐						
	EM-CEケーブル	8sq-3C ラック	52.0	m			
	EM-CEケーブル	8sq-3C 管内	24.0	m			
	EM-IE電線	5.5sq ラック	52.0	m			
	EM-IE電線	5.5sq 管内	24.0	m			
	電線管	GZ70 露出	12.0	m			
	電線管	GZ28 露出	12.0	m			
	電線管	F2-30・WP	4.0	箇所			
	ケーブルラック	W=300 Z35	36.0	m			
	空調用開閉器盤		1.0	面			
	電動機接続	直入れ	4.0	箇所			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
1	閑上小中学校						
	1-2).受変電設備						
	盤内改造	MCB3P100/60Aブレーカー設置	1.0	式			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
2	下増田小学校						
	2-1).動力設備						
	2-1)-①.動力幹線		1.0	式			
	2-1)-②.動力分岐		1.0	式			
	2-2).受変電設備		1.0	式			
	計						

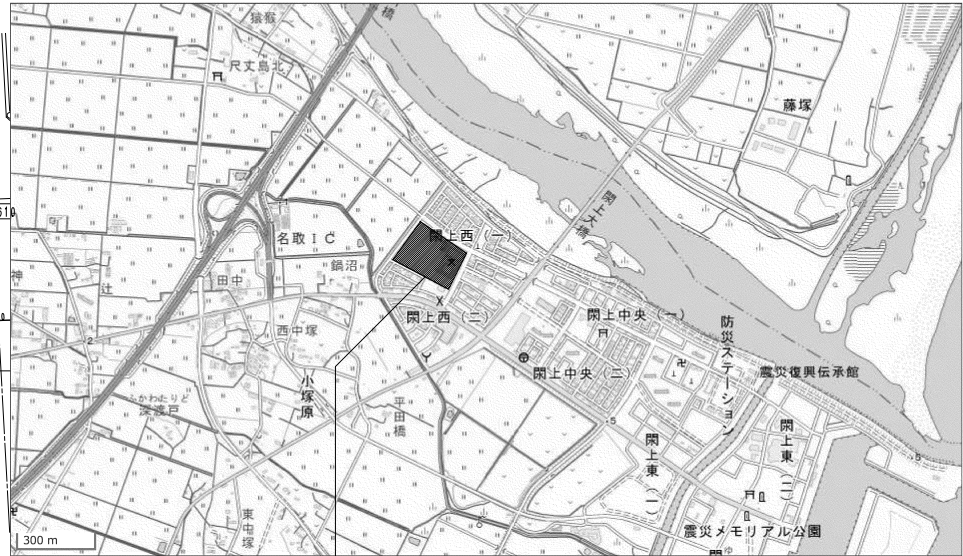
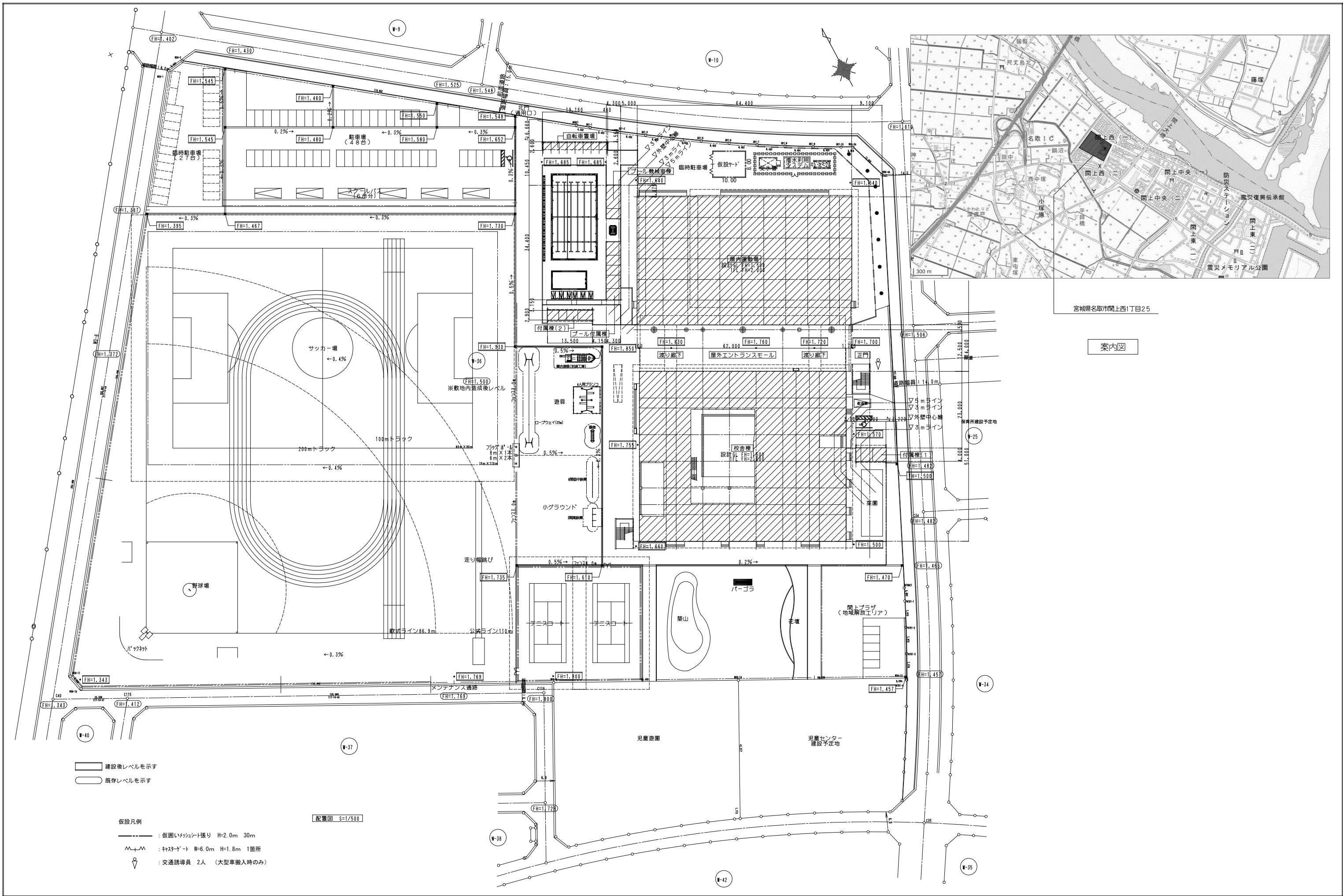
記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
2	下増田小学校						
	2-1).動力設備						
	2-1)-①.動力幹線						
	EM-CETケーブル	60sq 管内	37.0	m			
	EM-CETケーブル	60sq ラック	10.0	m			
	EM-IE電線	14sq 管内	74.0	m			
	EM-IE電線	14sq ラック	20.0	m			
	電線管	GZ70 露出	35.0	m			
	配管用ブロック	W300、H100	17.0	箇所			
	プルボックス	300×300×300 SUS・WP	5.0	個			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
2	下増田小学校						
	2-1).動力設備						
	2-1)-②.動力分岐						
	EM-CEケーブル	8sq-3C ラック	95.0	m			
	EM-CEケーブル	8sq-3C 管内	24.0	m			
	EM-IE電線	5.5sq ラック	52.0	m			
	EM-IE電線	5.5sq 管内	24.0	m			
	電線管	GZ70 露出	15.0	m			
	電線管	GZ28 露出	15.0	m			
	ケーブルラック	W=300 Z35	54.0	m			
	電線管	F2-30・WP	5.0	箇所			
	空調用開閉器盤		1.0	面			
	電動機接続	直入れ	5.0	箇所			
	計						

記号	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	価 格	摘 要
校ほか	電気設備工事						
2	下増田小学校						
	2-2).受変電設備						
	盤内改造	MCB3P100/75Aブレーカー撤去 MCB3P100/100Aブレーカー設置	1.0	式			
	計						

名取市立閑上小中学校ほか 1 校特別教室等空調設備工事

図 面 リ ス ト	
図 面 番 号	機 械 設 備 図 ・ 電 気 設 備 図
M — 01	機 械 設 備 改 修 工 事 特 記 仕 様 書
M — 02	【 閑 上 小 中 学 校 】 案 内 図 ・ 配 置 図 ・ 仮 設 計 画 図
M — 03	【 閑 上 小 中 学 校 】 機 器 表
M — 04	【 閑 上 小 中 学 校 】 空 調 設 備 4 階 平 面 図
M — 05	【 下 増 田 小 学 校 】 案 内 図 ・ 配 置 図 ・ 仮 設 計 画 図
M — 06	【 下 増 田 小 学 校 】 機 器 表
M — 07	【 下 増 田 小 学 校 】 空 調 設 備 3 階 平 面 図
E — 01	電 気 設 備 改 修 工 事 特 記 仕 様 書
E — 02	【 閑 上 小 中 学 校 】 構 内 配 電 線 路 図
E — 03	【 閑 上 小 中 学 校 】 高 圧 受 変 電 設 備 単 線 結 線 図
E — 04	【 閑 上 小 中 学 校 】 動 力 設 備 4 階 平 面 図
E — 05	【 下 増 田 小 学 校 】 高 圧 受 変 電 設 備 単 線 結 線 図 ・ 動 力 盤 図
E — 06	【 下 増 田 小 学 校 】 動 力 設 備 3 階 平 面 図
E — 07	【 下 増 田 小 学 校 】 動 力 設 備 R 階 平 面 図




宮城県名取市関上西1丁目25

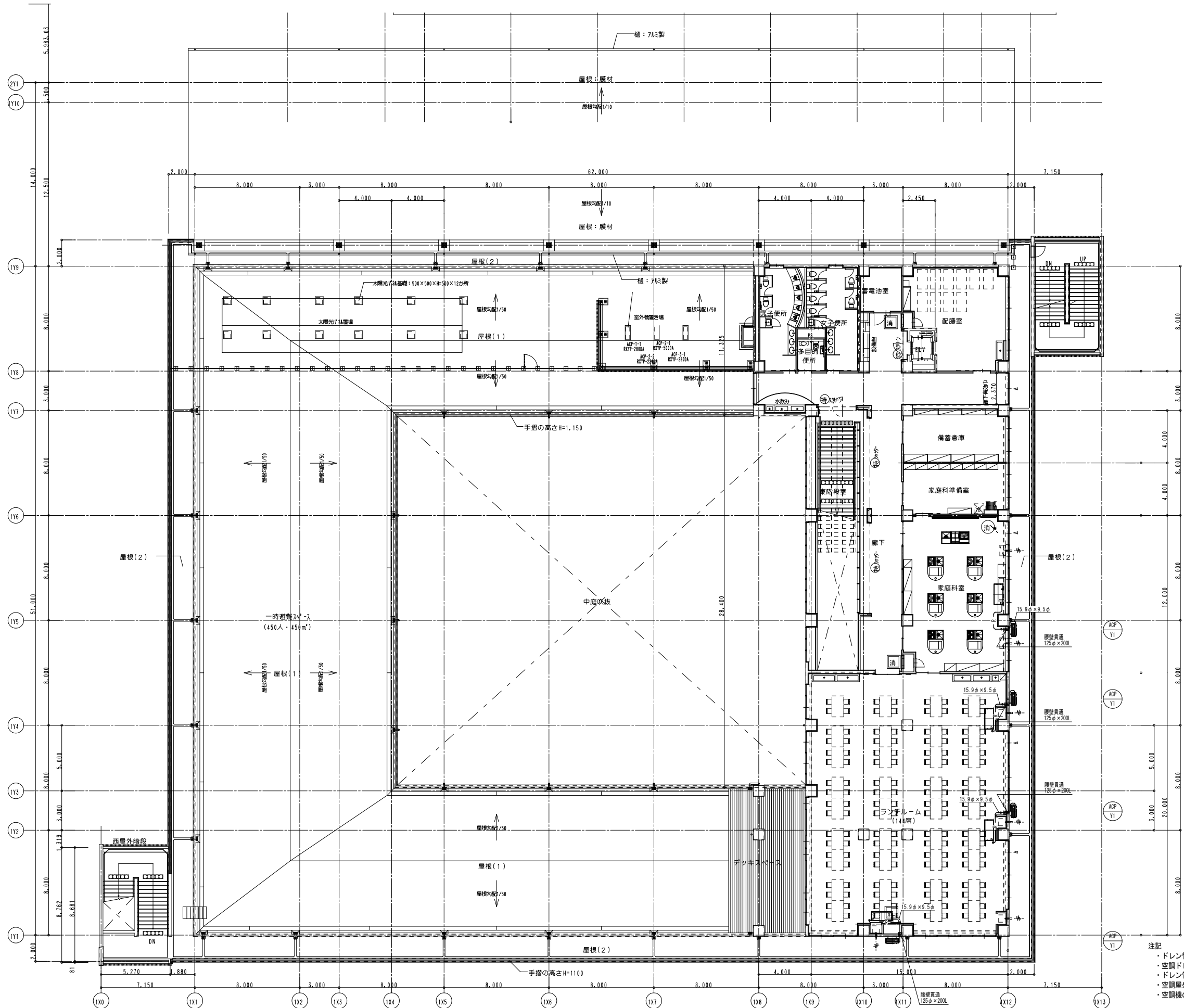
案内図

- 建設後レベルを示す
- 既存レベルを示す

- 仮設凡例
- 仮囲いフェンス張り H=2.0m 30m
 - フェンスゲート W=6.0m H=1.8m 1箇所
 - 交通誘導員 2人 (大型車搬入時のみ)

配置図 S=1/500

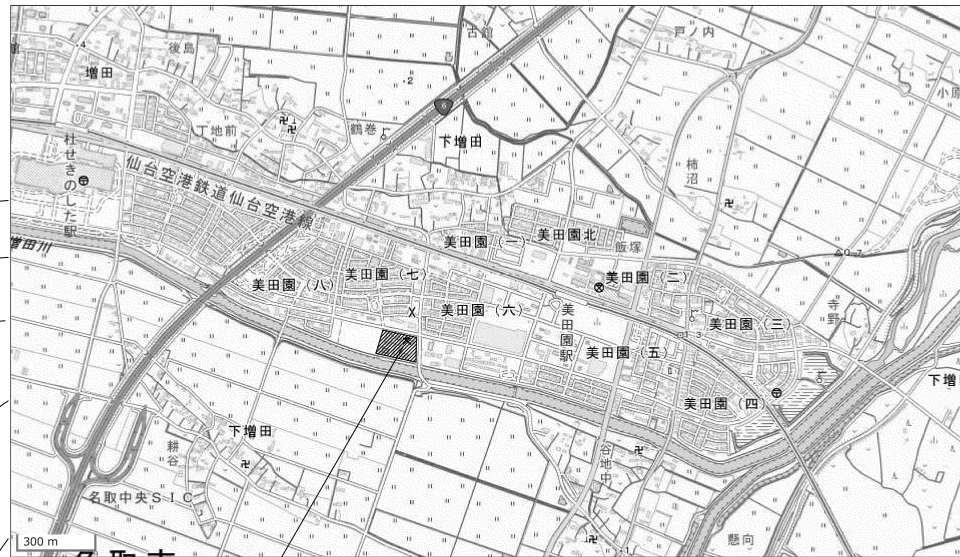
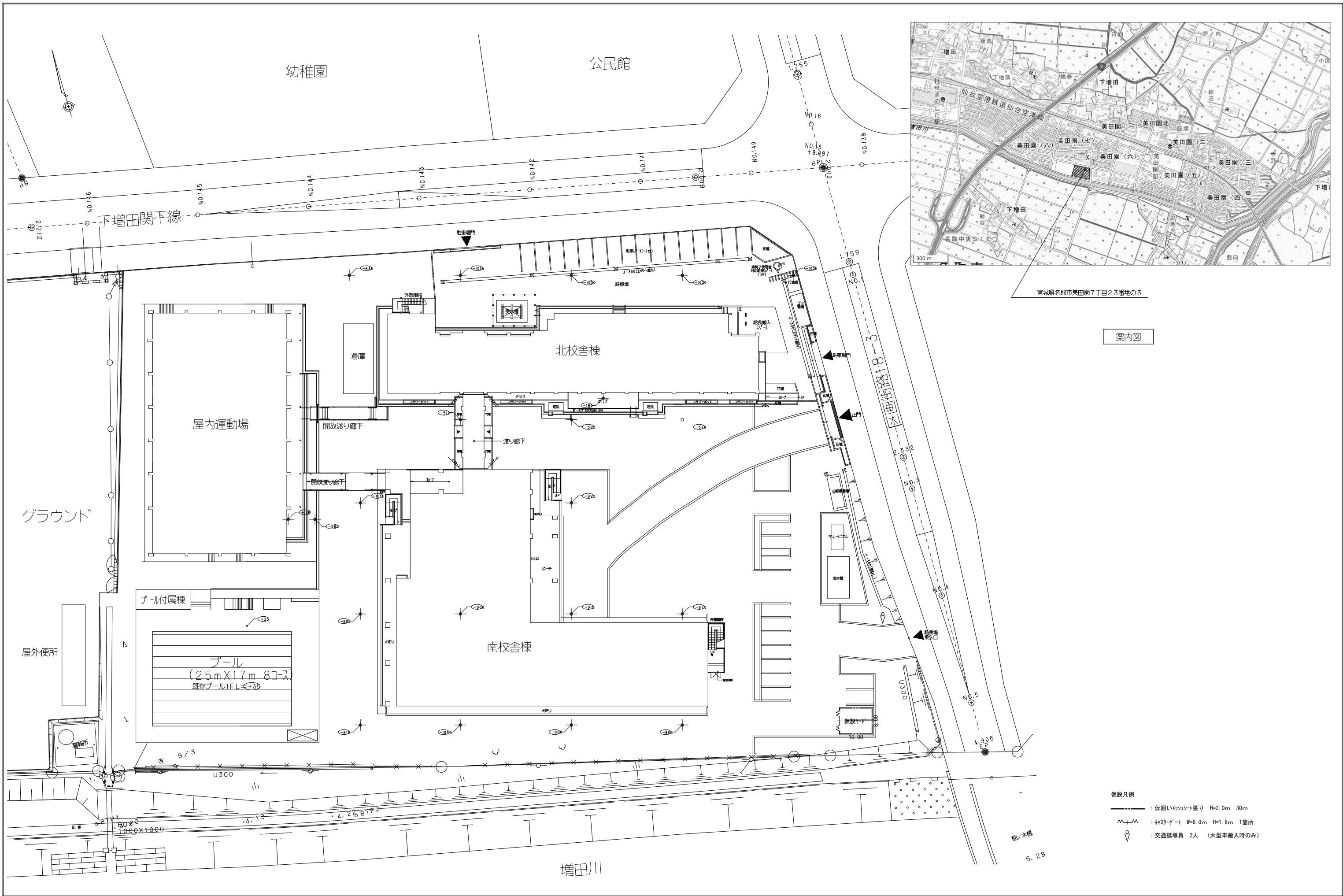
	特記事項			設計年月日			年			月			日			工 事 名			名取市立関上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事						図 面 番 号	
				管理技術者			担 当 者			作 図									縮 尺							
																【関上小中学校】			A1: 1/500							
																案内図・配置図・仮設計計画図			A3: 1/1000							
																			株式会社 桂 設 計			一級建築士登録 第324846号 長南 京子			M - 02	



注記

- ・ドレン管は冷媒配管供巻きとし、露出部は保温化継ぎ手を施すこと。
- ・空調ドレンはベランダへ放流とし、管端に防虫網を取付ること。
- ・ドレン管のサイズは25A(VP) とする。
- ・空調屋外機～室内機の渡り配線 (EM-CEE2.0-3C) は本工事とする。
- ・空調機のリモコンはワイヤレスとする。

	特記事項			設計年月日	年	月	日	工 事 名	名取市立開上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事	図 面 番 号
				管理技術者	担 当 者	作 図		図 面 名	【開上小中学校】 空調設備 4 階平面図	縮 尺
									A1: 1/150 A3: 1/300	M - 04
								株式会社 桂 設 計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子	

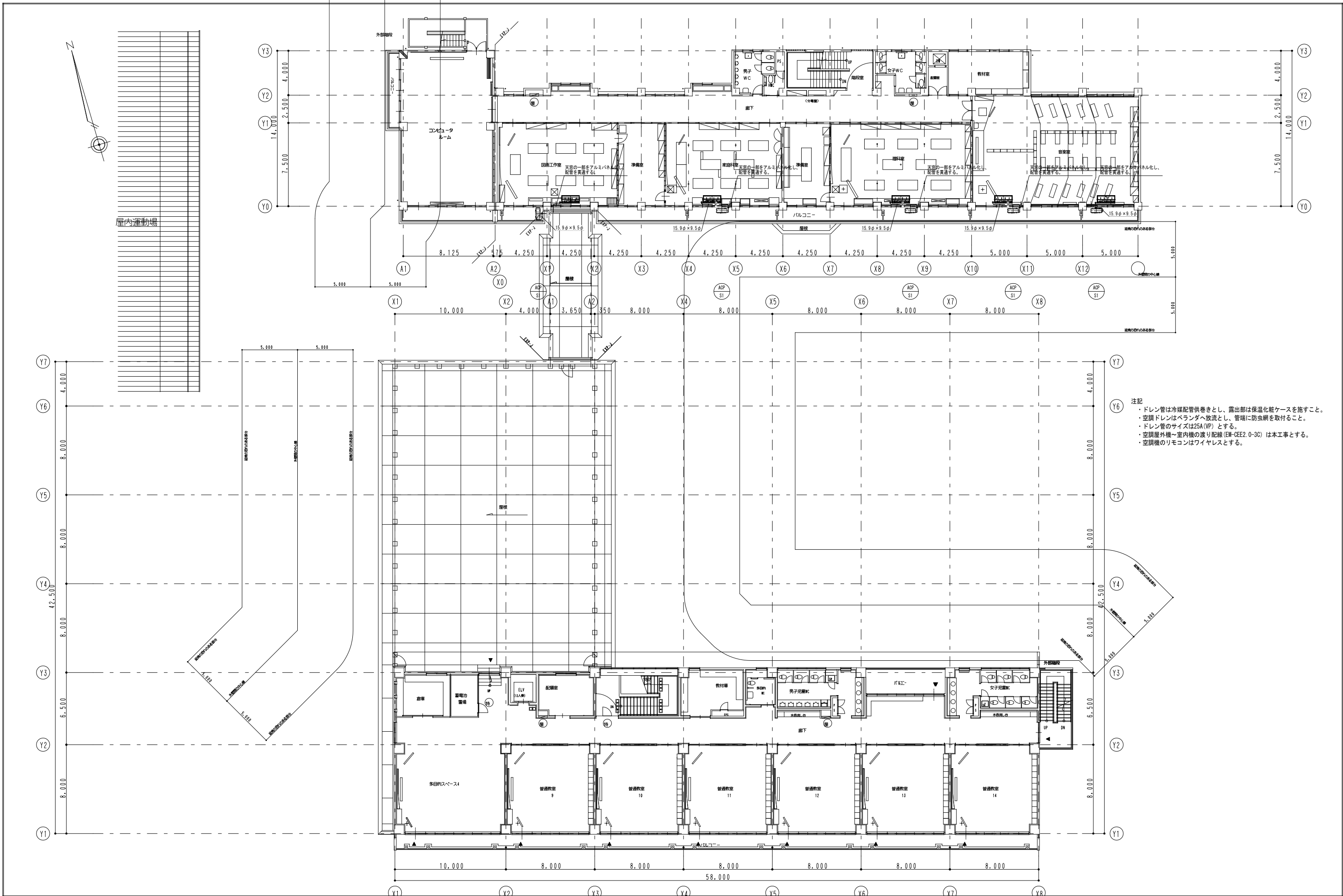


宮城県名取市美田園7丁目23番地の3

案内図

- 仮設凡例
- : 仮囲いメッシュシート張り H=2.0m 30m
 - ~~~~~ : キャスターゲート W=6.0m H=1.8m 1箇所
 - ▽ : 交通誘導員 2人 (大型車搬入時のみ)

	特記事項			設計年月日	年	月	日	工 事 名	名取市立開上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事	図 面 番 号
				管理技術者	担 当 者	作 図		図 面 名	【下増田小学校】 案内図・配置図・仮設計計画図	縮 尺
									A1: 1/300 A3: 1/600	M - 05
									株式会社 桂 設 計	一級建築士登録 第324846号 長南 京子



- 注記
- ・ドレン管は冷媒配管供巻とし、露出部は保温化紐ケースを施すこと。
 - ・空調ドレンはペランダへ放流とし、管端に防虫網を取付ること。
 - ・ドレン管のサイズは25A(VP)とする。
 - ・空調屋外機～室内機の渡り配線(EM-GEE2.0-3C)は本工事とする。
 - ・空調機のリモコンはワイヤレスとする。

	特記事項			設計年月日			年	月	日	工 事 名	名取市立開上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事			縮 尺	図 面 番 号	
				管理技術者			担 当 者	作 図			【下増田小学校】					
											空調設備 3階平面図					
											A1: 1/150 A3: 1/300					
							株式会社 桂 設 計				一般建築士登録 第324846号 長南 京子					

電気設備改修工事特記仕様書【令和7年4月版】

1. 工事概要

1. 工名	名古屋市立下増小学校校舎空調設備設置工事
2. 工事場所	宮城県名古屋市内
3. 建物概要	

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	消防法施行令第8条第一による用途区分	備 考
下増小学校	R C造	3階建	3,586.56㎡		7画	
隣上小中学校	R C造	4階建	11,870.00㎡	-		

4. 工事種目（○印の付いたものを適用する。）

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別	屋 外	備 考
○電灯設備				
○動力設備	改修一式	改修一式		
・電氣設備				
・雷保護設備				
○受変電設備	改修一式	改修一式		
・電力貯蔵設備				
・変圧設備				
・構内情報通信設備				
・構内交換設備				
・情報表示設備				
・映像・音響設備				
・監視設備				
・誘導支援設備				
・テレビ共用受信設備				
・駆力メータ設備				
・駐車場管理設備				
・防火・入退室管理設備				
・自動火災報知設備				
・中央監視制御設備				
・映像・音響設備				
○構内通信回路	改修一式	改修一式		外灯設備を含む
・テレビ電話装置防除				
・その他工事	別紙仕様書による			

5. 指定部分	※ なし	・ あり	(工 期：令和 年 月 日) (対象部分：)
6. 構成工期	※ なし	・ あり	(工事工期より 日前)

Ⅱ. 特記仕様書

- 一般事項

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁官庁整備部の「公共建築物工事標準仕様書（電気設備工事編、令和4年版）」、「公共建築物工事標準仕様書（電気設備工事編、令和4年版）」、「国土交通大臣官庁官庁官庁整備部・環境課監修の「公共建築物改修工事標準図（電気設備工事編、令和4年版）」による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれ工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図、建築工事の特記仕様書は（ ）図による。
- 特記事項

(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとす。

章	項 目	特 記 事 項																							
一	① 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規程第9号) ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(後発版) ※ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁官庁官庁整備部監修 令和5年版) ※ 工事写真集影ガイドブック＜電気設備工事編＞(国土交通省大臣官庁官庁官庁整備部監修 令和5年版)																							
	② 機 材 等	※ 本工事に使用する機械等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「黒色塗装のシグハフスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放出による健康への被害に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、塗装材料適合規格製品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマルミン不使用が明示されたものとする。																							
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、「建築物材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																							
	④ 保 険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。																							
二	⑤ 雇 用	本工事は、公共機関安定期間の紹介する者の雇い入れに努める。																							
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工程別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。																							
三	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関へ必要な手続き等は監督職員と協議の上、受注者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。																							
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。																							
四	⑨ 工事の一時中止	工事実施契約書第20条の規定により工事の一時的中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械等品の調査、中止期間中の作業及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。																							
	⑩ 工事実務経費の登録(CORINS)	請負額が500万円以上の場合は、工事実務経費を登録する。 受注時、変更時及び完成時には、あらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。																							
五	⑪ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。																							
	⑫ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。																							
六	⑬ 工用電力、水、他	本工事に係る工用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。																							
	⑭ 工用仮設物	構内につくることが ※ できる ・ できない																							
七	⑮ 監督職員事務所	※ 設けない ・ 設ける(・ 無 ・ 建築工事)																							
	⑯ 足場、さん橋	○ 別契約の関係諸氏が設置したもの、無償で使用する。 ・ 本工事で設置する。 なお、枠組足場を設置の場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年6月改訂)によるものとし、二段手すり及び幅木の機能があるものでなければならぬ。																							
八	⑰ 工事表示板	※ 設置する 設置枚数 1枚 営繕工事ににおける工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木本部営繕課・施設審判定)により設置する。 ・ 設置しない																							
	⑱ 工事用通路	※ 指定しない ・ 指定する(図示)																							
九	⑲ 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの (・) ・ 特別管理産業廃棄物 (・ P C B使用機器 ・) ・ 受入施設名・所在地 (・) ・ 現場において再利用を図るもの (・) ・ 再資源化を図るもの (・)																							
	⑳ 残土処理	※ 構内指示の場所に盛き出し ・ 構内指示の場所に埋積 ・ 構外出出																							
㉑	㉑ 耐震施工	耐震工における設備機器等の固定は、「建築物耐震設計・施工指針 2014年版」((地) 建築研究所監修)による。本工事の施設分類は(○) 特定の施設 ・ 一般の施設)で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は下のとおりとする。なお、()内の数値は防災支障の抑制の場合に適用する。																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配置場所</th> <th colspan="2">特定施設</th> <th colspan="2">一般施設</th> </tr> <tr> <th>重畳機器</th> <th>一般機器</th> <th>重畳機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>一部及び地下層</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0</td></tr></tbody></table>	配置場所	特定施設		一般施設		重畳機器	一般機器	重畳機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	一部及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)
配置場所	特定施設			一般施設																					
	重畳機器	一般機器	重畳機器	一般機器																					
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																					
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																					
一部及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0																					

23.	他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。																																																																																				
24.	保温、結露防止	図面に示する壁、天井でF.P.板（スタイロホーム等）打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。																																																																																				
25.	電線類	本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。																																																																																				
26.	合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、P.F管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。																																																																																				
27.	二重金属製可とう管	露出箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし いんべい箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし																																																																																				
28.	電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子箱などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管路などは、監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。																																																																																				
29.	インサート	鋼鉄板とする。なお、床版で保温打込み部分は、断熱材用インサート（重組めつ製品）を使用する。																																																																																				
30.	呼び線	長さ1m以上の通線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。																																																																																				
31.	フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（※ 金属製（ステンレス・新金属も含む） ・ 樹脂製 ）とする。																																																																																				
32.	フロアプレート・ベース	※ 水平高低調整付（空転防止リング付） ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製																																																																																				
33.	ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。																																																																																				
34.	支持金物、固定金物	屋外の機架及び配管に使用する支持金物（ボルト・ナット）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をとらぬ機器の支持金物のナットは、ダマルナットとする。																																																																																				
35.	あと施工アンカー	施工方法 ・ 接着系（※ 有機系 ・ 接着剤） ・ 金属係系（※ 本体打込式） 性能・施工確認 ※ 行わない 行う																																																																																				
36.	接地極の種類・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、E.Bの長さは1,500mmとする。 ただし、D=10は1,000mm、W=3は1,200mmとする。 装設機器及び屋外用接地極の埋設距離は不要とする。																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>接 地 極 の 種 別</th><th>記 号</th><th>接地極径値</th><th>接地極の規格、数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 常備接地用接地極</td><td>E1A</td><td>φ以下</td><td>E.P×2</td></tr> <tr> <td>・ 常備接地用接地極</td><td>E1A</td><td>φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-1組</td></tr> <tr> <td>・ 共同接地</td><td>E.A・E.D・E1H</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ 共同接地</td><td>E.A・E.C・E.D</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ A線</td><td>E.A</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ B線</td><td>E.B</td><td>φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×2</td></tr> <tr> <td>・ C線</td><td>E.C</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ D線</td><td>E.D</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×1</td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-1組</td></tr> <tr> <td>・ 構内交換機（機架）用</td><td>E1</td><td>φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-1組</td></tr> <tr> <td>・ 水配管部の保安装置</td><td>E1L</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ 電話引込口の保安器</td><td>E.D</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×1</td></tr> <tr> <td>・ 圧着増幅器</td><td>E.Da</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×1</td></tr> <tr> <td>・ 防犯装置用</td><td>E.S</td><td>φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-1組</td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td><td>E.B(D=10又はW=30)×1</td></tr> <tr> <td>・ 測定用</td><td>E.o</td><td></td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ 避雷管用（低圧用）</td><td>E.LL</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ 避雷管用（高圧用）</td><td>E1H</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×3連-2組</td></tr> <tr> <td>・ 避雷管用（モテム用）</td><td>E.MD</td><td>10φ以下</td><td>E.B(D=14又はW=40)×1</td></tr> <tr> <td>・ 構造体接地</td><td></td><td></td><td>建築構造体利用（通信用も含む）</td></tr> </tbody> </table>	接 地 極 の 種 別	記 号	接地極径値	接地極の規格、数量	・ 常備接地用接地極	E1A	φ以下	E.P×2	・ 常備接地用接地極	E1A	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-1組	・ 共同接地	E.A・E.D・E1H	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ 共同接地	E.A・E.C・E.D	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ A線	E.A	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ B線	E.B	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×2	・ C線	E.C	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ D線	E.D	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1	・			E.B(D=14又はW=40)×3連-1組	・ 構内交換機（機架）用	E1	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-1組	・ 水配管部の保安装置	E1L	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ 電話引込口の保安器	E.D	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1	・ 圧着増幅器	E.Da	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1	・ 防犯装置用	E.S	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-1組	・			E.B(D=10又はW=30)×1	・ 測定用	E.o		E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ 避雷管用（低圧用）	E.LL	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ 避雷管用（高圧用）	E1H	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組	・ 避雷管用（モテム用）	E.MD	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1	・ 構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）
接 地 極 の 種 別	記 号	接地極径値	接地極の規格、数量																																																																																			
・ 常備接地用接地極	E1A	φ以下	E.P×2																																																																																			
・ 常備接地用接地極	E1A	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-1組																																																																																			
・ 共同接地	E.A・E.D・E1H	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ 共同接地	E.A・E.C・E.D	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ A線	E.A	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ B線	E.B	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×2																																																																																			
・ C線	E.C	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ D線	E.D	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1																																																																																			
・			E.B(D=14又はW=40)×3連-1組																																																																																			
・ 構内交換機（機架）用	E1	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-1組																																																																																			
・ 水配管部の保安装置	E1L	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ 電話引込口の保安器	E.D	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1																																																																																			
・ 圧着増幅器	E.Da	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1																																																																																			
・ 防犯装置用	E.S	φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-1組																																																																																			
・			E.B(D=10又はW=30)×1																																																																																			
・ 測定用	E.o		E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ 避雷管用（低圧用）	E.LL	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ 避雷管用（高圧用）	E1H	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×3連-2組																																																																																			
・ 避雷管用（モテム用）	E.MD	10φ以下	E.B(D=14又はW=40)×1																																																																																			
・ 構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）																																																																																			
37.	総合調整	各機器の個別運転後と総合調整を行い、報告書を作成すること。 ・ 受電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備																																																																																				
38.	塗装工事	下記箇所に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外 ※ 屋敷																																																																																				
39.	山留め	切取面にてその箇所の実況に合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。																																																																																				
40.	舗装工事	国土交通省大臣官庁官庁庁舎建築部公共建築工事標準仕様書（建築工事編）22章（舗装工事）及び建築工事管理指針（下巻）22章（舗装工事）による。																																																																																				
41.	はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。																																																																																				
42.	再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定の上、取り付ける。																																																																																				
43.	撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。																																																																																				
44.	アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）、廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理の上、監督職員へ報告すること アスベスト使用状況																																																																																				
45.	有害物質の取り扱い	PCB（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化感応器）等の有害物質の含有を撤出前に確認し、監督職員に報告書を出すとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。																																																																																				
1.	工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類																																																																																				
2.	電気方式	・ 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz ・ 分岐 単相3線式 100/200V ・ 分岐 単相2線式 100V ・ 幹線 金属管配線 ・ ケーブル配線																																																																																				
3.	施工方法	分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ） コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ） 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製																																																																																				
4.	照明器具	L.E.D. ・ 一体型 ・ ダウンライト ・ その他																																																																																				
5.	防災用照明器具	・ 非常用照明器具（※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形） ・ 誘導灯（※ L.E.D誘導灯 ・ 誘導標識）																																																																																				
6.	照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全てで行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。																																																																																				
7.	ハイトンションアウトレット	※ 銅合金製 ・ アルミ製 ※ 飛び出し形 ・ 外部固定形																																																																																				
8.	予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は（P.F22）を1本、5個以上の場合は（P.F22）を2本以上、天井裏まで上り上げる。 梁下配管・配線スペースのない梁上は、1スパンにV.E（36）2本を予備スリーブとして埋込む。																																																																																				
1.	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 制御盤類																																																																																				
2.	電気方式	○ 幹線 三相3線式 200V 50Hz ○ 分岐 三相3線式 200V																																																																																				
3.	施工方法	幹線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ・ その他 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ・ その他 屋外露出 ○ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ○ 金属製																																																																																				
4.	警報装置	※ 警報機（電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置）																																																																																				
5.	電磁開閉器用押印（遠方操作用）	※ 遠方連動形配線器具																																																																																				
6.	機器への接続	電動機などの接続は本工事とする。																																																																																				
7.	電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。																																																																																				
8.	連相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。																																																																																				
9.	電気自動車用充電装置	・ 機器類 ・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型 ・ 急速充電装置 直流電圧 V																																																																																				
1.	電気方式	幹線 相 線式 V 50Hz 分岐 相 線式 V																																																																																				
2.	施工場所及び面積	(m ²) (m ²)																																																																																				

電 気 設 備	1. 工事範囲	・ 受電部	・ 引下げ導線	・ 接地極埋設
	2. 受電部	・ 変圧	・ 線上導体	・ 笠木（別途）など
電 気 設 備	3. 避雷導線	・ 引下げ導線	・ 構造体利用	
	4. 接地極	※ 接地極埋設	・ 構造体利用（測定時期	回数）
電 気 設 備	5. 測定用補助接地極	・ 設置		
	1. 工事範囲	○ 機器類		
電 気 設 備	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V	・ 低圧 単相3線式 100V/200V	
	3. 引込ケーブル	・ EM-CET38	・ EM-CET60	
電 気 設 備	4. 配電盤	・ 屋内形	・ 屋外形（防鼠処理及び防鳥対策を施す）	
	5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PFS）	・ 高圧交流遮断器（CB）	
電 気 設 備	6. 高圧機器類	・ 油入式	・ モールド	
	7. 変圧器	・ 単相変圧器 kVA （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品）	・ 三相変圧器 kVA	
電 気 設 備	8. 進相用コンデンサ	・ 低圧	・ 高圧	
	9. リアクトル	・ 6%	・ 13%	
電 気 設 備	10. 自動力率制御装置	・ メーターリレー形	・ 静止形	
	11. 測定用補助接地極	・ 設置		
電 力 貯 蔵 設 備	1. 蓄電電源装置	※ 非常用照明器具電源、受電設備制御電源供用	・ 受電設備制御専用	・ 非常用照明器具専用
	2. 交流無停電電源装置	用途（容量） 蓄電池	・ 鉛蓄電池（・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE） ・ アルカリ蓄電池（・ AH ・ AMH） ・ リチウムイオン電池	
電 力 貯 蔵 設 備	1. 工事範囲	・ 機器類		
	2. 形 式	・ 簡易形	・ キュービクル式	・ オープン形
電 力 貯 蔵 設 備	3. 発電機	電気方式	相 線式 50Hz	電圧 V 定格出力 kVA 運転時間 時間
	4. 原動機	種類	・ ディーゼル	・ ガスタービン
電 力 貯 蔵 設 備	5. 燃 料	種類	・ 軽油	・ 灯油
	6. 太陽光発電装置	主制御装置	なし	あり（・ 別途
電 力 貯 蔵 設 備	7. 系統連系	・ 有	・ 無	
	1. 工事範囲	・ 交換機	・ 電話機	・ 配線（・ 全部
構 内 交 換 設 備	2. 電話交換機	形式	・ ボタン電話装置	・ デジタルPBX
	3. 電話機への配線	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM-TTEFO.6S-20C（・ 20m） ・ EM-EETBO.4-2P（・ 20m） ・ ワイヤープロテクタ（樹脂製 外形寸法約20×8）1.5m		
構 内 交 換 設 備	4. ローテーションアウトレット（電甲形）	※ 一般電話用 個（・ 納入する	・ 取り付ける）	
	5. 保安器用接地	※ 本工事	・ 別途工事	
通 信 設 備	1. 工事範囲及び施工方法	項 目	工 事 範 囲	施 工 方 法
	2. 構内情報通信設備	種類	・ 10BASE-T	・ 100BASE-T
通 信 設 備	3. 情報表示設備	・ 壁掛形	・ 自立形	
	4. 映像・音響設備	・ 増幅器	・ W	・ BD
通 信 設 備	5. 拡声設備	・ 増幅器	・ W	・ 地上形
	6. 誘導支援設備	・ インターホン	・ トイレ等呼出装置	・ 音声誘導装置
通 信 設 備	7. テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ（・ AU	・ CSBSA	・ CSA
	8. テレビ電波障害	・ 事前調査	・ 機器類	
通 信 設 備	9. 監視カメラ設備	・ 白黒方式	・ カラー方式	・ ネットワーク
	10. 駐車場管制設備	・ 管制盤	・ 検知器（・ 光線式	・ ループコイル式）
通 信 設 備	11. 防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（※ 本工事	・ 別途）	
	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類
火 災 報 知 設 備	2. 火災検知装置	・ 壁掛形	・ 自立形	
	3. 非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）	・ 非常放送装置	
火 災 報 知 設 備	4. 自動閉鎖装置	・ 運動制御器	・ 自動閉鎖装置（・ 防火戸用	・ 防煙ダンパ用
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 受信機	・ 回線（・ 都市ガス用	・ 液化石油ガス用）
火 災 報 知 設 備	6. 消火器類	・ 消火器	・ 検知器	
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 検知器	

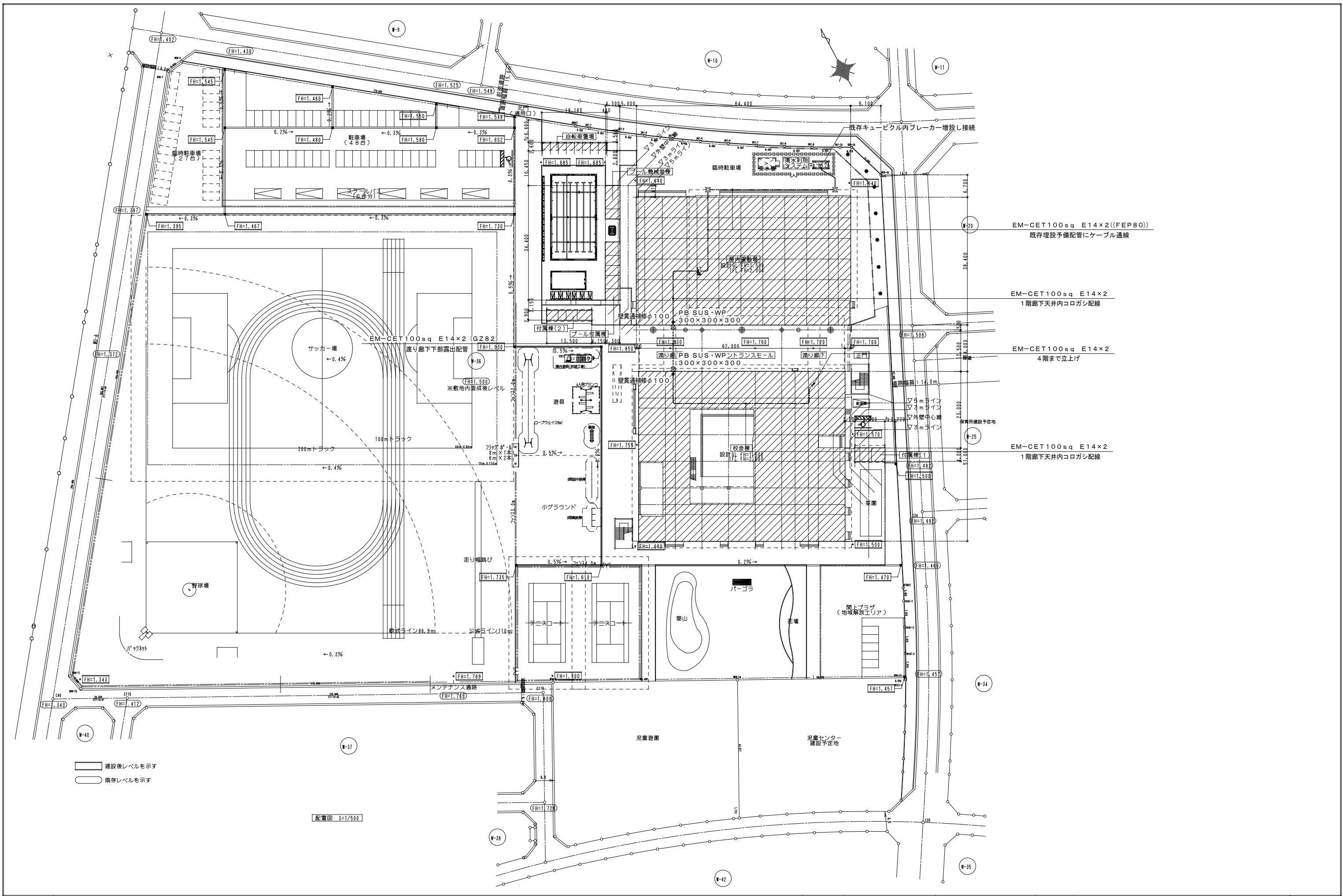
1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
2. 監視制御対象設備	・ 動力設備	・ 変電設備	・ 発電設備	・ 火災報知設備
3. 表示操作盤	・ 壁掛形 組込み機器	・ 自立形	・	・
4. 監視制御装置	構成機器	・ グラフィックパネル ・ 監視操作装置 ・ 中央処理装置 ・ 帳面用印字装置	・ 内蔵式液晶ディスプレイ ・ 信号処理装置 ・ 補助記憶装置 ・ インクジェット式	・ 操作点 ・ 分散処理装置 ・ 電源装置 ・ 等式式
1. 工事範囲	・ 管路	・ 配線	・ 機器類	
2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100V/200V ・ 低圧 単相2線式 100V			
3. 布設方法	※ 地中埋設式 (・ FEP ・ 厚鋼電線管 ・ GLT)	・ 架空線式		
4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器 ・ 避雷器 ・ 高圧カッタウト、がいしなど	※ 一般用 ※ 地絡検電器付き (※ 方向性 ・ 無方向性) ※ 一般用 ※ 一般用	・ 耐重塩じん用	
5. 高圧ケーブルの 端末処理	屋外側 ※ 一般用 ※ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付 (屋内外共、線名、作業日、氏名を表示)			
6. その他	東北電力 (株) 外線工事基準 (架空線編) に準ずる。			
7. 外灯設備	・ 定格電圧 V W			
8. 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を実施する。()			
9. 標識シート	・ 高圧ケーブル ・ 低圧ケーブル			
10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備配管 (FEP100:1本) を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管 (FEP80:2本) を設ける。			
1. 工事範囲	・ 管路	・ 配線		
2. 用途	・ 電話用	・ 時計、給電用	・ 火災報知用	
3. 施工方法	※ 地中埋設式 (・ FEP ・ 厚鋼電線管 ・ GLT)	・ 架空線式		
4. 標識シート	※ 弱電用			
1. 特記事項	①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式「建設副産物処理表 (施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②撤去品の一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式2-2 建設副産物処理表 (撤去品調査表)」として監督職員に提出すること ③上記2により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある撤去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員の確認を得たうえで処理・処分すること ④撤去品の取扱については、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3 建設副産物処理表 (最終)」として監督職員に提出すること			

電力共通	電 力 設 備	名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)	
電力共通	取用計器	地上～屋中心	約 1,800	電圧検察器の高	地上～引込点			
	分電盤	床下～中心	1,800～2,200	集合保安装置	天井下～上端	200		
		床下～中心	1,500 (上端1,900以下)	端子盤 (地下、室内)	床下～下端	300		
電	スイッチ (一般)	床下～中心	1,300	時計	壁掛形縦時計	床下～中心	1,500 (上端2,000以下)	
	" (和室)	"	1,200	計	時計	"	2,300	
	コンセント (一般)	"	300	警	警形スピーカ	"	2,300	
	" (和室)	"	150～200	拡	取付フタケース	"	1,300	
	" (台 上)	台上～中心	100	更	取付フタケース (一般)	床下～中心	1,300	
	" (ファン用)	床下～下端	ファン下端	・	" (身体障害者)	"	1,300	
	" (扇 所)	床下～中心	800～1,000	通	壁付アラレット (一般)	"	300	
	" (庫 庫)	"	300	備	通 (和室)	"	150～200	
	" (庫庫)	"	500～1,000	換	換気取換器	天井下～上端	200	
	" (土 間)	"	800～1,300	備	直列ユニット (一般)	床下～中心	300	
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300	電	電 (和室)	"	200	
	" (障 欄)	"	2,000～2,500	表	表示設備	床下～中心	2,300	
	" (障 上)	障上端～中心	150	報	警付警報機	"	1,300	
	避難口誘導灯	床下～下端	1,500以上	報	表示、ブザー、チャイム	床下～中心	2,300	
	廊下通路誘導灯	床下～下端	1,000以下	表	表示押しボタン (一般)	床下～中心	1,300	
力	壁掛形制御盤	床下～中心	1,500 (上端2,000以下)	受	受電機	床下～中心	800～1,500	
	開閉器箱	"	1,500	耐	耐受電機	"	800～1,500	
	電圧検察器用ボタン	"	1,300	火	換気取換器	"	800～1,500	
	非常ボタン (使用所)	床下～中心	400, 900	火	臭気機	"	800～1,500	
	警報インターホン (警機)	"	1,300	報	表示灯	床下～中心	2,100	
	" (玄関子機)	"	1,100	知	知	"	2,300	
	廊下表示灯 (復旧ボタン付)	"	1,300	警	液化石油ガス用検知器	床下～上端	250	
	昇降表示ランプ	"	1,500	都	都市ガス用検知器 (軽質)	天井～上端	150	
	スイング	"	1,100	"	(重質)	天井～上端	250	
	身	壁掛形制御盤	床下～中心	1,500 (上端2,000以下)	受	受電機	床下～中心	800～1,500
		開閉器箱	"	1,500	耐	耐受電機	"	800～1,500
		電圧検察器用ボタン	"	1,300	火	換気取換器	"	800～1,500
		非常ボタン (使用所)	床下～中心	400, 900	火	臭気機	"	800～1,500
		警報インターホン (警機)	"	1,300	報	表示灯	床下～中心	2,100
		" (玄関子機)	"	1,100	知	知	"	2,300
廊下表示灯 (復旧ボタン付)		"	1,300	警	液化石油ガス用検知器	床下～上端	250	
昇降表示ランプ		"	1,500	都	都市ガス用検知器 (軽質)	天井～上端	150	
スイング		"	1,100	"	(重質)	天井～上端	250	
身		壁掛形制御盤	床下～中心	1,500 (上端2,000以下)	受	受電機	床下～中心	800～1,500
		開閉器箱	"	1,500	耐	耐受電機	"	800～1,500
		電圧検察器用ボタン	"					

[illegible]



名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
1 完成図書	富樫工事完成引渡要領 (令和7年4月1日版)	1部	6 管理の手引き ①工事統括要書 ②機器完成図	A4版：チューブ式ファイル	1部
2 完成図(縮小)	白焼縮小製本 A3版2つ折り うち1部は設備課保管	2部	③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表		
3 完成図・施工図 (電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及び PDF形式	C.D 2枚	7 工事写真 ①施工写真 ②完成写真	A4版：チューブ式ファイル (着手前・施工中・完成の各写真) A4版：ペーパーファイル 完成図に添付	1部 1部
4 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材目録証明書 ③機材検査成績書 ④工機試験成績書 ⑤工機立上検査成績書 ⑥現場併付試験成績書 ⑦総合試験成績書	A4版：製本	1部	8 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事通報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧建築物管理費の発生 ⑨管公共への届出書	A4版：チューブ式ファイル	1部
5 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各機保証書	A4版：製本	1部	9 工事に関する承諾 確認書		

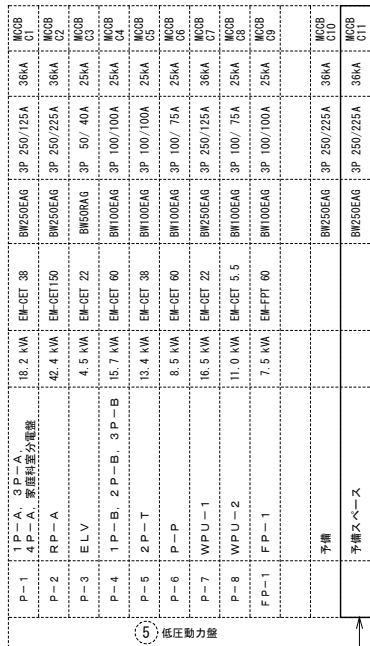
注記：機器参考図について
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。



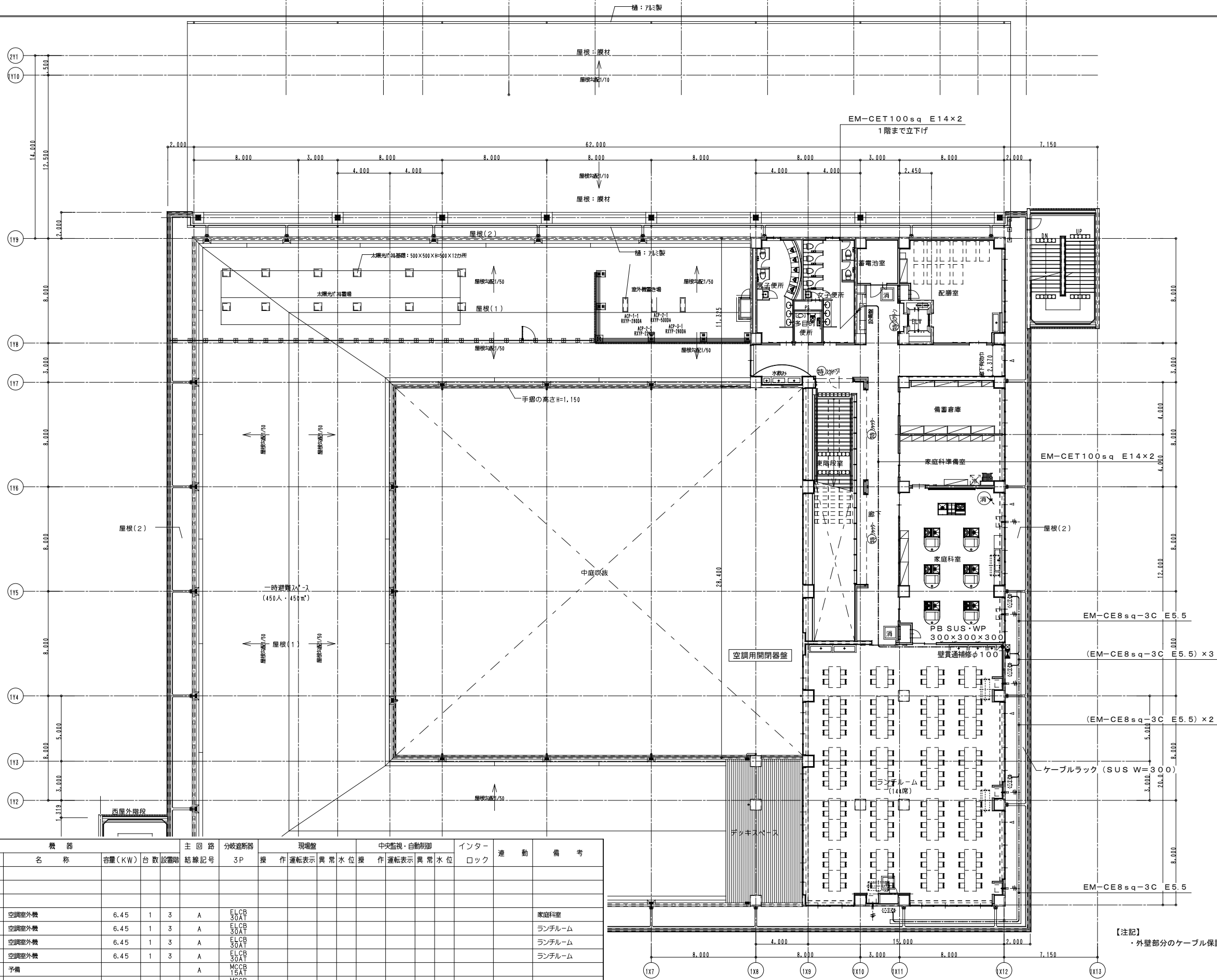
建設後レベルを示す
既存レベルを示す

配管図 S=1/500

	特記事項			設計年月日 年 月 日			工 事 名			名取市立開上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事			図 面 番 号		
				管理技術者			担 当 者			図 面 名			縮 尺		
										【開上小中学校】 構内配電線路設備			A1: 1/500 A3: 1/1000		
										 株式会社 桂 設 計			一級建築士登録 第324846号 長南 京子		



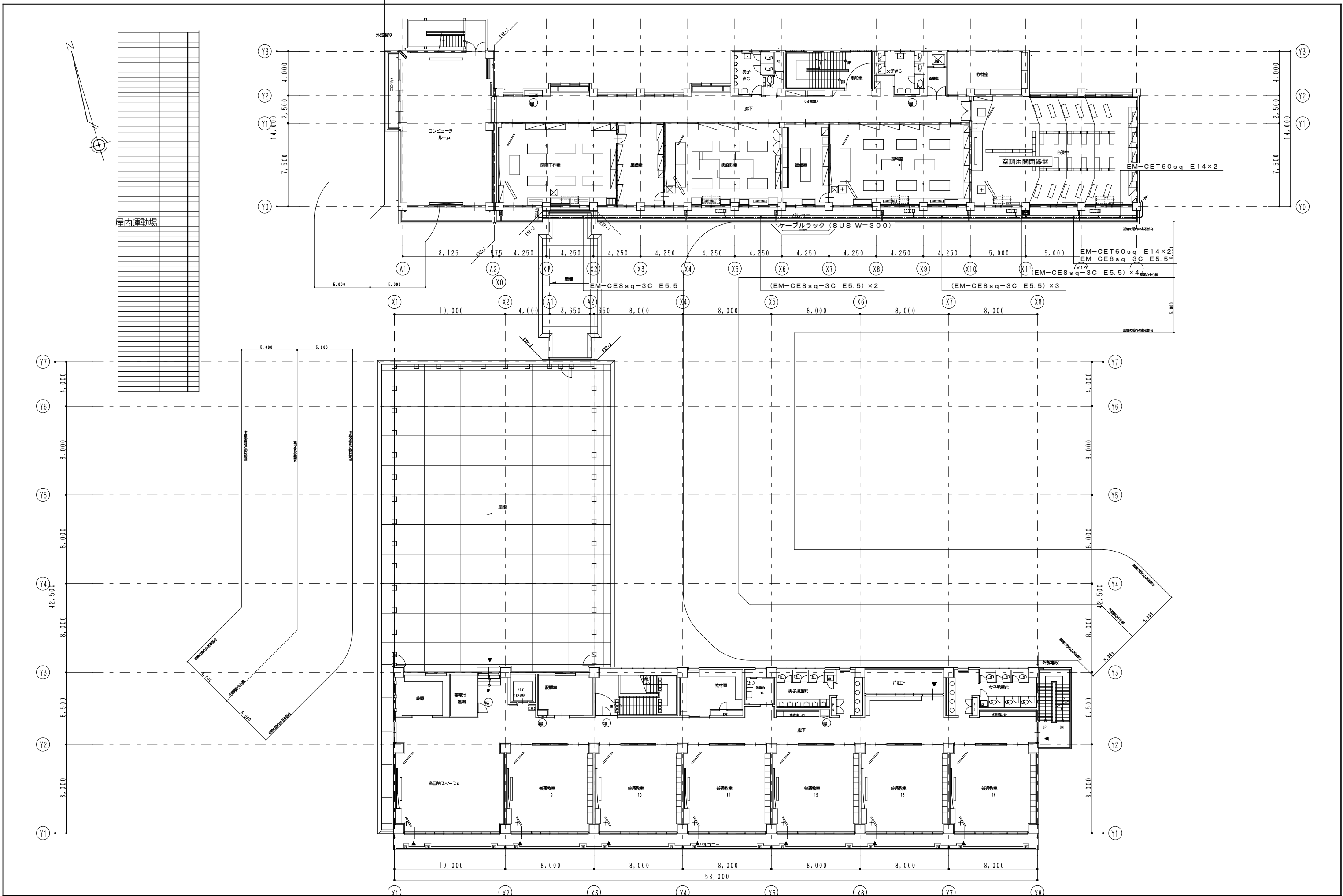
記 号	中央監視盤対応
○	操作
●	状態表示
△	警報表示
□	計測 (4~20mA)
■	電力量



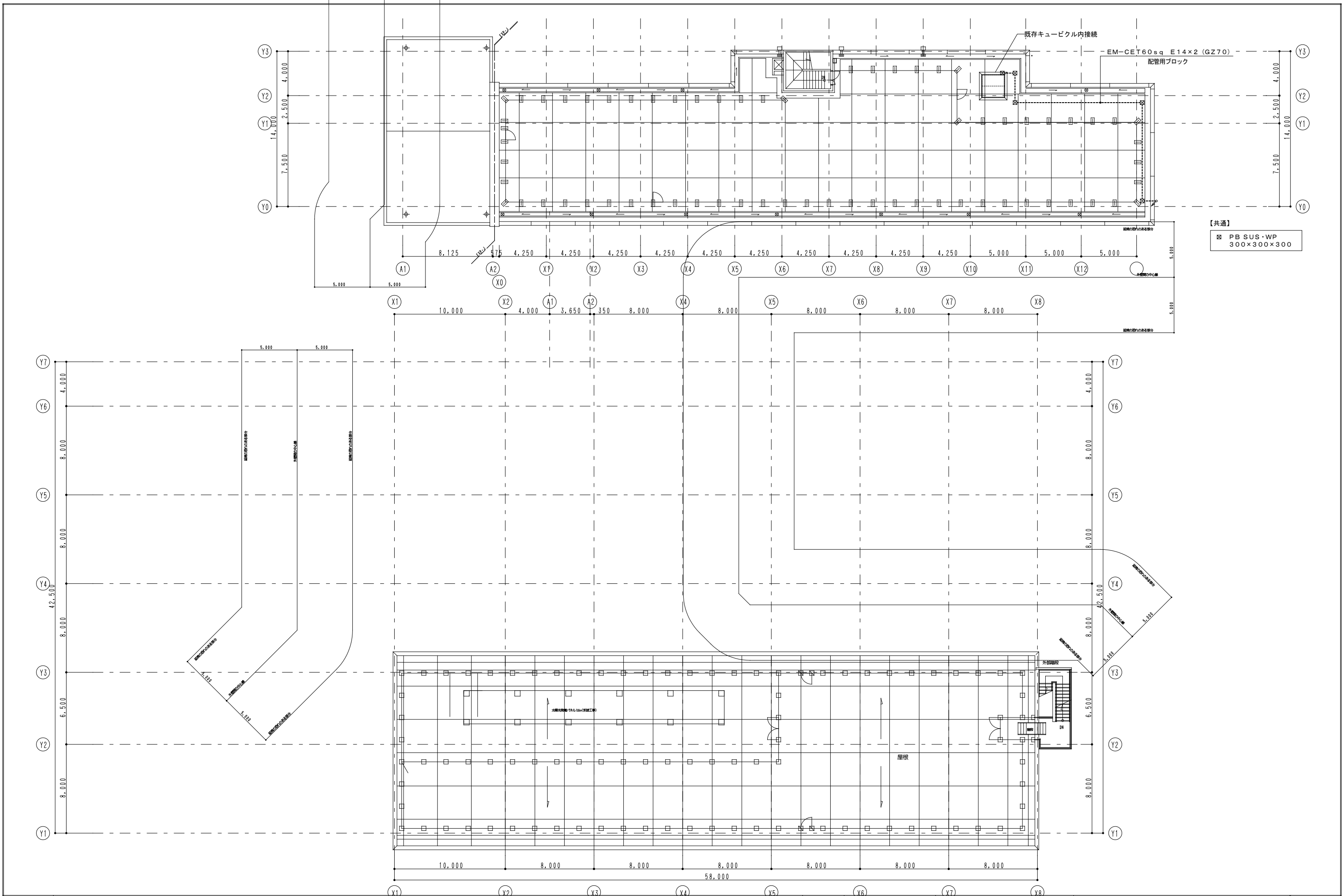
制御盤名称 (盤型式)	主回路器(AF/AT) 及び盤内結線	機 器				主 回 路 結 線 記 号	分岐遮断器 3P	現場盤			中央監視・自動制御			インター ロック	連 動	備 考	
		記 号	名 称	容量(KW)	台 数			設置階	操 作	運転表示	異 常 水 位	操 作	運転表示				異 常 水 位
空調用制御盤 SUS製防水露出形 指定色塗装	<p>AC 3φ3W210V</p> <p>EF (W)</p> <p>MCCB 3P 100/60</p> <p>PI 1</p> <p>(計 25.8kW)</p>																
			空調室外機	6.45	1	3	A	ELCB 50AT									家庭科室
			空調室外機	6.45	1	3	A	ELCB 30AT									ランチルーム
			空調室外機	6.45	1	3	A	ELCB 50AT									ランチルーム
			空調室外機	6.45	1	3	A	ELCB 30AT									ランチルーム
			予備				A	MCCB 15AT									
			制御回路				A	MCCB 15AT									
				</													



【注記】
・外壁部分のケーブル保護管は適合GZ管にて行うこと。

E - 05



	特記事項			設計年月日			年	月	日	工 事 名		名取市立開上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事		図 面 番 号			
				管理技術者			担 当 者		作 図		図 面 名		【下増田小学校】 動力設備 3階平面図		縮 尺 A1: 1/150 A3: 1/300		E - 06
											株式会社 桂 設 計		一級建築士登録 第324846号 長南 京子				



	特記事項			設計年月日			年	月	日	工 事 名		名取市立開上小中学校ほか1校特別教室等空調設備工事		図 面 番 号		
				管理技術者			担 当 者		作 図		図 面 名		電気設備 R階平面図		縮 尺	
													A1: 1/150 A3: 1/300		E - 07	
											 株式会社 桂 設 計		一級建築士登録 第324846号 長南 京子			